

2. コントロールユニット

フロントパネル



1. パワー／セレクト (PWR/SEL) スイッチ

2. A/Bボリュームツマミ

3. ディスプレイユニットハーネス接続コネクタ (4極)

リアパネル



4. 中継ハーネス接続コネクタ (3極)

6. 電源ハーネス接続コネクタ (2極)

1. パワー／セレクト (PWR/SEL) スイッチ

EVCの機能をON/OFFするための切替スイッチです。このスイッチを1秒以上押し続けた場合にパワーのON/OFFを切替えます。パワーONの時は赤色の照明が点灯し、EVCによる制御を行います。パワーOFFの時には緑色の照明が点灯し、EVCによる制御を行わず、ノーマルブーストとなります。また、EVCパワーON時には、押してから1秒未満にスイッチを離した場合、A、B2つのブースト設定の切替を行います。

排気バイパス選択スイッチの設定とバルブに記憶されている排気バイパスタイプが異なる場合、このスイッチの照明が点滅します。このような場合は、下記の操作を行ってください。

1. イグニッションOFFにする。
2. 排気バイパス選択スイッチを切替える。
3. イグニッションONにする。
4. EVCをパワーOFFの状態にして、正しく排気バイパス選択スイッチを設定し直す。

2. A/Bボリュームツマミ

それぞれ独立したブースト設定値の設定を行います。High/Lowの区別は無く、2つの設定値の大小は制限されません。また、どちらのブースト設定値(ボリュームツマミ)が有効なのか2色の照明により視覚的に確認できます。

有効であるボリューム：赤色の照明

有効でないボリューム：緑色の照明

設定はイグニッションONでEVCがパワーONの時にのみ可能です。万一イグニッションOFF時や、イグニッションONでEVCがパワーOFFの時にボリュームツマミが動いてしまったなど、各ボリュームツマミの位置と、バルブに記憶された設定値が異なる場合には照明が点滅します。この状態ではボリュームツマミを操作しても、設定値を変更できません。設定値を変更するには、イグニッションONでEVCがパワーONの状態で行ってください。

1. 照明が点滅しているボリュームツマミをゆっくり操作して、バルブに記憶されている設定値に合わせる(ボリュームツマミの位置と設定値が一致すると点滅から点灯に変わります)。
2. 照明が点滅から点灯に変わったことを確認し、目的の設定となるようにボリュームツマミを操作する。

3. ディスプレイユニットハーネス接続コネクタ (4極)

オプション設定の外部スクランブルスイッチ、または、ディスプレイユニットハーネスにより、ディスプレイユニットを接続するためのコネクタです。

4. 中継ハーネス接続コネクタ (3極)

中継ハーネスにより、バルブを接続するためのコネクタです。

5. 排気バイパス選択スイッチ

一般的なアクチュエータを使用するスイングバルブタイプと大容量ターボに見られるウエストゲートを使用するポペットバルブタイプの切替を選択するためのスイッチです。スイングバルブタイプはSW側、ポペットバルブタイプはPO側です。切替は、イグニッションONでEVCがパワーOFFの時のみ可能です。

6. 電源ハーネス接続コネクタ (2極)

電源ハーネスを接続するためのコネクタです。